

31の組み杖

	受け(左半身で、立て杖の構え)	打ち(左半身で、直突きの構え)
1	直突きの軸を外して左に開き、返し払いで直突きを払う。即突きで中段(右脇腹)を突く。	直突きにて突く。返し突きが来るので、突かれる前に右に払う。即直突きで中段(腹)を突く。
2	右斜め後方に半歩下がりがりながら、中段の受け杖。即ち右手を下げて打ちの杖を外し、打ちの杖を叩く。	
3	打ちの左脇腹に返し突きを入れる。	左足を引きつつ、受けの杖を左外に受け流す。さらに左手を右に回して右外に捌く。受けの脇が開くので、直突きにて上段(胸)を突く。
4	右斜め後方に半歩下がりがりながら、上段の受け杖にて打ちの突きを受ける。	
5	斬り返して、上段返し打ちにて、横面を打つ。	左足を引きつつ、上段返し打ちにて受けの横面を受ける。
6	これを斬り返して、上段返し打ちにて、横面を打つ。	右足を引きつつ、上段返し打ちにて受けの横面を受ける。
7	振り返って、後方を正面打ち。右半身。	左半身で、そのままの姿勢。
8	左足が一步出て、斬り返しての横面打ち。	右足から一步近ずき、右半身で中段の構え。後方より打たんと、上段に振りかぶる。
9	右肩より後方を確認しつつ、横面打ちの杖を流して後払い。	後払いが来るので、上段に振りかぶったまま、右足を引いて避ける。さらに打たんと右足を一步出す。
10	打ちの打ち掛かりに合せて、左足から左斜め前方に出て右足を引き付けつつ、打って来る打ちの肘を押さえる。	
11	斬り返して、左足を半歩踏み込んで、左半身にて横面打ち。	右足を一步後退し、左半身の上段受けにて横面打ちを受ける。
12	右足、左足の順で半歩下がって、左半身の直突きの構え。	杖を左手で手繰って、左半身の直突きの構え。
13	直突き。	右直払いにて受けの直突きを払う。さらに直突き。
14	右斜め後方に半歩下がりがりながら、上段受けにて打ちの直突きを受ける。	
15	上段返し打ち。	左足を引きつつ、左側から杖を回して、上段返し打ちにて受ける。
16	右手で杖を手繰って後方に引き、右肩に隙を見せる。	右半身、直突きの構え。
17	下段払いにて、打ちの右足を打つ。	右足を引きつつ、左手を離し杖を立てて下段受けにて受ける。即、受けの左脇腹に直突きを入れる。
18	右斜め後方に半歩下がりがりながら、回転払いにて左に払い、打ちの下段を空ける。	
19	受けの左足に、下段直突き。	左足を後方に引きつつ、左手を下に右手を上にして、杖を立てて受ける。
20	上段返し下段打ち。上段を打つ気配より、膝を着き受けの右足に下段を打つ。	左から杖を回して、右半身の構えから、受けの下段打ちを受ける。
21	下段を打ったら、即ち杖を後ろに手繰り、面打ちを誘う隙を見せる。	隙に誘われ、右足を後方に引きつつ、面を打たんと振りかぶり、左半身上段の構え。
22	受けの上段の振りかぶりに合せて、胸を突く。立ち上がりつつ杖は軸に沿って、最短にて行く。	左半身上段の構えにて、腰を捻り胸突きをかわす。上段の構えより、左手を突き出しつつ、右手にて杖を手繰り受けの胸を突く。
23	右足を右斜め後方に引き、胸突きをかわしつつ、回転払いにて打ちの杖を左に払う。	
24	隙の出た脇を直突き。	左横に一步移動して突きを避けつつ、杖を左下から右上に廻して、受けの突きを右に払う。
25	払われた勢いを利用して杖を廻して追い突き。	右横に一步移動しつつ、杖を回転して、受けの追い突きを上から叩く。
26	即、右後方に杖を手繰って、下段返し構え。	左半身の直突きの構えに戻してから、同時に杖を手繰って下段返し構え。
27	突かれる前に、打ちの左足に下段返しを打つ。	左足を後方に引き、杖を立てて下段で受ける。
28	杖を左肩に担いでから打ちの胸を突く。右半身。	左手を下げて右手に当て、右足を右斜め後方に引きつつ、受けの胸突きを右に払う。八相の構え。
29	回転払い。	
30	右半身より直突き。	八相の構えより、受けの直突きを上から叩く。左半身直突きの構えに戻してから、突く。
31	叩かれた勢いにて斬り返し、横面を打つ。	